

山協ニュース

岩手県山岳協会
第165号
平成22年9月3日発行
long-distance.jp/sangaku/

第37回東北総合体育大会 5年ぶり男女総合優勝 全種別2年連続国体出場

第37回東北総合体育大会山岳競技兼平成22年度国民体育大会東北ブロック大会が盛岡市の岩手県営登山競技場で開催された。岩手県選手団は5年ぶり男女総合優勝に輝き、国体出場も全種別2年連続勝ち取った。



大会は、7月23日（金）から25日（日）の3日間行われた。大会1日目の23日は、選手・監督・役員総勢約150名が出席して岩手県青少年会館で開会式が行われた。

大会長の高橋時夫県山岳協会長の挨拶、盛岡市教育委員会教育次長 萬明夫 氏の祝辞に続き、岩手県少年男子 坂本裕樹 君の選手宣誓で大会の幕が切って落とされた。

大会2日目は、雨が心配されたがどうか持ちこたえ、リード競技が開催された。難易度の高い15mのハング状の壁に東北の精鋭が挑戦した。



(リード競技で完登した少男：昆脩太選手)

大会3日目は、ボルダリング競技が行われ、国体並みに難度を上げた4課題に果敢に挑戦した。

競技終了後、青少年会館で表彰式が開催され、各種別上位入賞チームに賞状、岩手県チームには、総合優勝トロフィーが高橋大会会長から渡された。その後応援

援に駆けつけた、滝沢村の柳村典秀村長から歓送のことばを頂き無事終了した。

大会には、矢羽々昭夫、出堀宏明両名誉顧問、中谷充、国本旗男、小泉昌弘各顧問等も応援に駆けつけて頂いた。



成年男子 長谷川健太選手の演技

山岳競技が、リード競技とボルダリング競技になって3年目と移行期にあることもあり、役員体制の強化、職務分担の明確化や審判会議や中央総務への報告等に時間を要し、表彰式が遅れる等の課題もありましたが大きなトラブルもなく盛会裏に終わることが出来ました。

今後、国体審判基準の改定等も重なり、審判、役員団とも更に研修、研鑽を積んで競技の運営とスポーツクライミングの普及発展に努力し6年後の二順目岩手国体に備えていく必要があります。

協会関係者の皆さん、千葉国体上位入賞に向けて更に選手強化を重点的に行う必要があります。選手強化募金へのご協力をお願いします。

東北大会選手団

種別	選手		監督
成年男子	長谷川健太	三上 誉人	畠山 晃
成年女子	畠山 千怜	高橋亜也加	島崎 操一
少年男子	坂本 裕樹	昆 脩太	千葉 真英
少年女子	熊谷 彩香	熊谷 遙香	土村 啓明

成績

種別	リード	ボルダリング	総合
成年男子	2位	1位	1位
成年女子	2位	2位	2位
少年男子	1位	1位	1位
少年女子	2位	1位	1位

ゆめ半島千葉国体山岳競技

選手・監督へ声援を！

東北総体を勝ち抜いた、岩手県成年男女・少年男女の国体選手監督が決まりました。いよいよ10月2日（土）から4日（月）の3日間、千葉県印西市で開催される、第71回国民体育大会に出場します。岩手県勢は、手作り選手団として上位入賞を目指して、猛暑のなか日夜強化に励んでいます。皆さんの応援をよろしくお願ひします。

選手監督は以下のとおりです。

◇成年男子

選手 長谷川慎平（岩手クラミングクラブ）

三上 誉人（岩手クラミングクラブ）

監督 畠山 晃（北上山岳会）

◇成年女子

選手 畠山 千怜（岩手クラミングクラブ）

高橋亜也加（岩手クラミングクラブ）

監督 小山 勝稔（翌檜山岳会）

◇少年男子

選手 坂本 裕樹（黒沢尻工業高等学校）

昆 脩太（盛岡南高等学校）

監督 千葉 真英（盛岡南高等学校）

◇少年女子

選手 熊谷 彩香（盛岡南高等学校）

熊谷 遙香（盛岡南高等学校）

監督 土村 啓明（盛岡南高等学校）

国体等競技力向上強化募金のお願い

国体山岳競技につきましては、皆様のご支援により、昨年は少年男子がリード種目で全国優勝を果すなど着実に成果が出、今年も、盛岡南高等学校出身の長谷川慎平君のワールドカップ出場等世界に羽ばたく選手が生まれています。これも皆様のご支援の賜物であります。

また、6年後の平成28年には、二順目岩手国体も内定し、計画的な選手強化の必要があります。

つきましては、毎年のごことで大変恐縮に存じますが、今年度の千葉国体をはじめ、各種競技会へ向けて選手強化及び派遣のため、選手強化募金につきましてよろしくお願ひを申し上げます。

1 一口 5,000円

（一口以上の募金をお願ひします。）

2 振込口座 岩手銀行 北上支店

普通 2070130

岩手県山岳協会選手強化部 中村浩之

※お願ひ 振込み依頼票の「ご依頼人欄」の記入の際は、お名前の次に所属 団体名のご記入をお願ひします。

3 現金書留の場合

〒029-5503 和賀郡西和賀町湯田 19-25-2

西和賀高等学校気付 小山勝稔

2010 つなぎ・箱ヶ森 トレイルランニング大会 高橋伸也選手 大会新で2連覇

「2010 つなぎ・箱ヶ森トレイルランニング大会」が7月4日（日）開催された。

箱ヶ森に会場を移して2回目となる同大会を高橋伸也選手（翌檜山岳会）が1時間29分26秒の大会新で2連覇した。今年の猛暑のはしりを予感させる炎天下のなか距離16.5km、高低差740mの箱ヶ森を中心とする会場で開催された。朝から気温がグングン上がり蒸し暑い過酷な条件の中を参加者96名、完走者70名（完走率73%）でした。

本大会は盛岡西警察署、つなぎ観光協会等及び翌檜・巖鷲・矢巾・盛岡山想会・アルペン・福岡山想会・滝沢村山岳協会・盛岡RCC・高体連・岩手クライング・早池峰・都南・北上の各加盟団体から50名近くの競技役員の協力を頂き、スムーズな大会運営のなか盛会裏に終了した。絶大なる協力いただきありがとうございました。

結果は以下のとおりです。

◇一般男子（49歳以下）完走者13/13

1位 高橋 伸也 1:29:26（大会新）翌檜山岳会

2位 柴田 良幸 1:32:07 滝沢村

3位 石川 勝利 1:47:10 一関市

◇一般男子（50歳以上）完走者5/5

1位 近藤 修三 2:04:17 高体連

2位 佐藤 誠 2:08:04 都南山岳会

3位 千葉 賢 2:15:41 一関市

◇一般女子 完走者4/5

1位 齊藤真樹子 1:57:16（大会新）秋田市

2位 千葉 貴子 2:43:23 盛岡山想会

3位 奥 きぬ子 2:46:46 盛岡市

◇高校男子 完走者45/65

1位 田中 文博 1:44:39 盛岡農業高

2位 村岡 生望 1:47:20 盛岡農業高

3位 舘 卓仁 1:47:21 盛岡農業高

◇高校女子 完走者3/8

1位 伊藤 智美 1:56:56（大会新）盛岡南高

2位 吉田 遥 2:18:43 盛岡南高

3位 畑 知佳 2:20:23 盛岡南高

※大会2連覇の高橋伸也選手は7月23日行われた第63回富士登山競争で2:53:00のタイムで初優勝している。

第62回岩手県民体育大会 第3回岩手県山岳競技国体選手選考会

成年男子北上山岳会、成年女子大迫山岳会、リードボルダリング競技ともに3連覇。少年のリード競技男女ともに盛岡南高校が2連覇。ボルダリング競技少年男子、黒沢尻工業高校初優勝。少年女子、盛岡南高校3連覇する。

第62回岩手県民体育大会及び第3回岩手県山岳競技国体選手選考会が6月26日～27日県営運動公園登山競技場で開催された。県民体には成年男子9チーム、成年女子2チーム。国体選手選考会(少年)には少年男子29チーム、少年女子6チームが参加。国体をめざした熱い戦いが繰り広げられた。大会結果は次のとおりです。

また、7月23日から25日にかけて本県で行われる第37回東北総合体育大会の選手監督が選考されました。

◇県民体育大会成績

・成年男子

	リード競技	ボルダリング競技
1位	北上山岳会B	北上山岳会B
2位	北上山岳会A	北上山岳会A
3位	大迫山岳会C	大迫山岳会A

・成年女子

	リード競技	ボルダリング競技
1位	大迫山岳会A	大迫山岳会B
2位	大迫山岳会B	大迫山岳会A

◇国体選手選考会成績

・少年男子

	リード競技	ボルダリング競技
1位	盛岡南高校A	黒沢尻工業高校A
2位	黒沢尻工業高校A	盛岡南高校A
3位	盛岡農業高校A	盛岡農業高校A

・少年女子

	リード競技	ボルダリング競技
1位	盛岡南高校A	盛岡南高校A
2位	盛岡南高校B	盛岡第一高校
3位	盛岡農業高校A	盛岡南高校B

協会顧問 小泉 昌弘氏 (財)岩手県体育協会功労賞受賞を祝す

30年余にわたり岩手県の登山界発展のため尽力されてきた顧問の小泉昌弘氏が去る5月18日(財)岩手県体育協会から功労賞を受けられました。

受賞を祝し、去る7月11日(日)協会顧問の小泉昌弘氏(盛岡山想会)の(財)岩手県体育功労表彰受賞祝賀会が、盛岡市労働福祉会館で関係者50余名の出席のもとに盛大に開催された。

冒頭、協会高橋会長の挨拶、参与会齋藤善也氏の祝辞、そしてこれまで競技登山に関し多くの指導を頂いた、千葉貴子さん、畠山晃氏がお祝いの言葉を述べた。

小泉氏は、昭和58年から今日まで山岳協会の役員として協会の発展に貢献され、特に国体山岳競技の天皇杯正式種目移行時と合わせ競技力強化のため多大なるご尽力をされ「山岳岩手」の礎を築かれた一人でもあります。また、クライマーとしても、常に新しい実践的技術の導入普及に努められ、指導員の育成等にも日夜ご奮闘を頂きました。

今後も、ご指導、助言をお願い申し上げます。おめでとうございます。

盛岡RCC創立50周年を祝う

平成22年5月30日(日)メトロポリタン盛岡で、盛岡ロッククライミングクラブ創立50周年記念式典及び祝賀会が県内各地から多くの岳友や会員の出席のもとに盛大に開催された。

式典は、川村芳征会長の挨拶に始まり、これまで会の発展に尽力された四戸寛次郎氏に表彰状、千葉泰隆氏、太野千枝子様へ感謝状が授与されました。

盛岡RCCは、昭和34年6月7日に協会顧問でもある四戸寛次郎氏らが中心となり創立され、会の名のごとく岩登りを中心に岩手県山岳界に新風をそそぎ、山岳会あげて協会の発展に寄与されてきています。特

に県外での冬山登山、海外遠征登山での活躍など山に寄せる熱い情熱、山男のロマンを感じさせてくれる詩集、特筆されま



すのが当時、毎年恒例となっていました岩手山元旦登山です。また、出場チームの盛衰が激しい県民体育大会

山岳競技には創設時から今日まで常に、複数チームが出場する等山岳岩手の競技水準を支えて頂いています。

沢登り、冬山登山、岩手山山小屋管理など活動も活発で、最近、先鋭的な登山が衰退傾向にあるなか、アルピニズムの本髄を追求して活発な活動を展開しています。

また、南八幡平遭難対策委員会捜索隊の主要メンバーとして山岳遭難救助にも先導的な役割を果たしてきています。この間、海外遠征へも精力的に取り組まれ、多くの挑戦や困難を会員一致団結して乗り越え、着実な歩みをどけられています。50周年を機にさらなる発展を御祈念したいと思います。

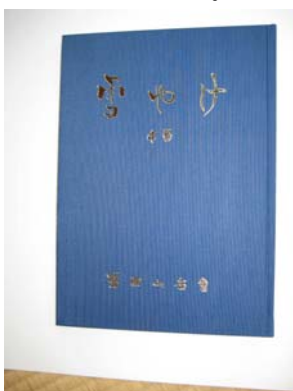
岩手の山岳の先達

「盛岡山岳会創立 80 周年」祝賀会挙

平成 22 年 6 月 19 日（土）盛岡市で、創立が昭和 5 年 6 月 20 日で本県登山界のパイオニア的存在でもある盛岡山岳会（会長 森慶人）の創立 80 周年記念祝賀会が、80 年前に設立総会の開催された会場でもある岩手県公会堂で挙行された。祝賀会には、多くの会員や県内各地から岳友が駆けつけ盛岡山岳会の歴史と輝かしい足跡にふれお祝いをした。

盛岡山岳会では、祝賀会と合わせて記念誌「雪やけ」4 号を発刊した。盛岡山岳会は、岩手医専の阿部康蔵氏を中心に岡田市郎氏、小山和吉氏、松木慎吾氏、吉田徳四郎氏の 5 氏が発起人となり発足しこれまで岩手の山岳界の振興発展の中心的役割を果たしてきた。

祝賀会では、森会長の挨拶に続き、県山協高橋時夫会長の祝辞や戦前戦後と盛岡山岳会とともに岩手の冬山登山や沢登り等先鋭的なルート開拓をしてきた盛岡山想会の渡辺正蔵会長、出堀宏明氏等からお祝いのことばが述べられた。



本県での山岳会組織として始めて発足した盛岡山岳会は、創立以来まさに、教養と知性と実行の山岳会として、その会風は変わることなく堅持され、岩手の登山界のリーダーとして登山界発展と岩手県山岳協会の充実強化のため貢献頂いています。

設立当時は、岩手山縦走路の開拓や冬の八幡平への挑戦等まさに冒険ではなかったのではないかと思います。山岳会の歴史は、まさに岩手の登山界の歴史でもあります。

盛岡山岳会が創立 80 周年を契機に、さらなる飛躍を御祈念申し上げます。

90 名の子ども達が参加で大盛況 夏休み親子クライミング・ボルダリング教室

夏休みを利用し、多くの子供たちにクライミングの楽しさを知ってもらうことと、スポーツクライミングの底辺拡大と普及を目的に 7 月 10 日（土）、13 日（火）、17 日（土）の 3 日間、岩手県営運動公園で開催した夏休み親子クライミング・ボルダリング教室に盛岡市を中心に 63 名を越える親子が参加した。

運営を担当している畠山協会副理事長兼選手強化部長も嬉しい悲鳴と共に、突然増えた参加者に戸惑う場面も。これも藤原、三上両君の国体での活躍や競技への理解を得るための担当者の日頃のマスコミへの働きかけがあったことも大きい。

嬉しい反面、指導に当たるスタッフの確保が課題。現在は、盛岡南高校山岳部員の協力を得るなどして対応しています。加盟団体の皆さんのご協力をお願いします。

なお、この教室に参加した子ども達を中心に、「いわてクライミングジュニア」（スポーツ少年団）が結成され、多くの子供たちにスポーツクライミングを通じて健やかな成長と国体選手養成に取り組んでいます。

「ジュニア登山教室 in 岩手山」

大きな感動と友情、親子の絆など大きな成果を得て無事終了

「小中学生の若年層に、登山を通じてスポーツとしての登山と人と自然のかかわりのすばらしさ体験させる。」ことを目的に日本山岳協会の補助を得て「ジュニア登山教室 in 岩手山」8 月 7 日（土）～8 日（日）1泊 2 日で岩手山で実施された。

登山教室には小学生 22 名（男子 10 名、女子 12 名）保護者 18 名計 40 名が参加した。

1 日目、7:30 馬返し登山口に集合。8:00 開講式。高橋会長あいさつ後、引率リーダーの出堀弘明氏よりストレッチと歩き方のコツ等登山行動の指導を受ける。連日、35 度近く気温が上がる猛暑続きの中幸いにも暑さが一時的におさまる絶好の登山日和となった。

8:30 小学生と保護者の 2 班に分け登山行動開始。追い越し、追い越され 1 合目、2 合目、3 合目と登る。新道から旧道 4 合目に入り 11:10 家族そろっての昼食。眼下の景色に子供たちの目がキラキラ輝き、時折吹き抜ける涼風に身を洗われ 13:46 八合目避難小屋に到着。

15:20 岩手山頂 2038mに全員無事登頂する。八合目避難小屋に下山後、今晚の寝床を決め、17:20 出堀氏による星座観察説明会が開かれ子供たちが真剣に聞き入っていた。夕食はベランダでちらし寿司など夕暮れを眺めながらのんびりとした豪華な時間を楽しんだ。19:10 サプライズの花火を楽しみ、20:00 就寝。

2日目、4:20 かかっていたガスがとれ東の空に真っ赤な光が姿を出した。その見事さを見ることができ充実感を味わう。朝食後、お世話になったトイレと避難小屋の清掃をする。7:40 親子一緒に下山。12:10 全員無事馬返し登山口に到着。閉講式で出堀氏から講評をいただき、子供たちに記念品が植田部長から手渡され。ジュニア登山教室 in 岩手山を終えることができた。

1031kg 荷上げする 2010 岩手山ボッカ大将

6月12日(土) 岩手山八合目避難小屋に12加盟団体、58名(男39名、女19名)で準備した荷上げ品1031kg(男808kg、女223kg)上げることができました。各人が可能な限りの荷物を背負い一步一步避難小屋に担ぎ上げました。改めて岳人各位に感謝いたします。夕刻からは本日の慰労を兼ねて交流会が開かれ、岳人の交流がより深まったと思っております。

6月13日(日) 朝食後、小屋・トイレ清掃、水洗トイレの水流確認の作業を行い現地解散となる。

ボッカ大将の結果、加盟団体人数は次のとおりです。
◇ボッカ大将

男子

1位	渡辺 良平	49kg	翌檜山岳会
	(2回目)	22kg)	
2位	小山 勝稔	38kg	翌檜山岳会
3位	藤田 智	36kg	都南山岳会
	西舘 正治	36kg	アルペンローズ

女子

1位	渡辺美智子	25kg	アルペンローズ
2位	及川 トミ	22kg	盛岡山想会
3位	白沢 友紀	20kg	岩大山岳部

◇加盟団体参加人数

岩鷲山岳会	13名	アルペンローズ	8名
岩大山岳部	7名	都南山岳会	6名
矢巾山好会	5名	滝沢山岳会	4名
岩大山の会	4名	盛岡RCC	4名
翌檜山岳会	3名	福岡山好会	2名
盛岡山想会	1名	ツェルト山岳	1名

花の名山

佐渡島「金剛山 金北山」登山

登山普及部主管の佐渡島「金剛山・金北山」登山が5月20日(木)～23日(日)開催された。参加者、スタッフ合わせて16名の参加であった。

5月20日(木) 21:00 滝沢村役場出発。

5月21日(金) 8:30 佐渡島両津港到着。10:00 ドンデン山荘より登山行動開始。長旅の疲れも見せずみな順調に歩き始める。エチゴキジムシロの黄色い花、アマナの白い花、ニシキゴロ、ミヤマカタバミなど次々に我々の目を楽しませてくれ、荒尻山から雪解けの影響でドロドロの登山道で難儀をしたが12:20 滑石山着。

見事に群生したカタクリが金剛山まで続き14:00 赤い鳥居のある山頂着。

14:15 白瀬へと下る。オオイカワガミが所狭しと咲き乱れていた。15:45 登山口着。島民の方々が農作業の中を白瀬集落まで歩き、17:10 宿に着。

5月22日(土) 6:00 宿を出発。6:55 ドンデン山荘から山行開始。金北山まで13.6kmヒトリシズカの見事な群生を見ながら真砂の峰に着。眺めの良い尾根気持ちよく歩くと天狗の休み場。カタクリに囲まれて11:20 金北山山頂に着く。山頂の神社の横にある防衛庁のレーダー設備は威圧的だった。約30分の休憩後、13:00 白雲台着。全員無事下山。19:30 のフェリーまで佐渡島のお土産などを買い、23日(日) 4:30 滝沢村役場着。解散。

安家森・遠別山・平庭岳 登山

登山普及部主管の安家山・遠別山・平庭岳登山が6月5日(土)開催された。33名の参加でした。

9:30 袖山高原を出発。牧場をつけぬけ20分ほどで安家森山頂に着く。朝方まで降っていた雨は止んでいたが、頂上は雲の中である。

遠別岳へは、林の中の緩い登山道となる。安家川源流の沢を渡り、分岐点で小休止後、進むこと25分狭い遠別岳山頂に出る。小さな鳥居には「県岳協50周年記念一斉登山」のプレートがかかってあった。

これから先、平庭岳までが新しく整備されたルートで参加者期待のルートであったと思う。尾根伝いの下り道を12:10 次峰台着。昼食。雨となる。

ジュウロイ平から平庭岳付近の登山道を午前中からこの日のために、久慈市山岳協会の方々に刈り払いをしていただいた。13:00 平庭平着、途中まだ刈り払い中の久慈市山岳協会の皆さんにお礼をし、平庭高原に無事下山する。

久慈市山岳協会の皆さんには、下見、当日の案内、刈り払い等ご協力をいただきありがとうございました。

岩手県防災航空隊と初の遭難救助合同訓練

「沢登り・岩登り講習会兼指導員研修会」

7月31日(土)～8月1日(日)にかけて沢登り・岩登り講習会兼指導員研修会が行われた。

1日目、北上市展勝地で岩登り講習会兼指導員研修会を行う。岩場でトップの滑落を止めた後の、ピレーヤーがロープからフリーになる「自己脱出」。岩場を負傷者と一緒にロープ下降する「カウンターラペル」。



ザックを使つての「負傷者搬送法」。そして「エアロレスキュー」を北上地区山岳捜索救助隊、岩手県防災航空隊、北上地区消防組合の協力を得て訓練を実施した。

この訓練は、関係機関の協力で岩手県山岳協会として、はじめての試みとして行ったもので、通報(防災航空隊の出動要請)、ヘリによるピックアップポイントまでの移動。防災ヘリからの強烈なダウンウォッシュ体験、防災ヘリでの実際にホイストでの担架上げ収容訓練等を実践しながら行った。



今回は、北上地区山岳遭難対策協議会の佐藤安美委員長や八幡平山岳遭難救助隊長でもある高橋協会会長等多数視察し、ヘリのダウンウォッシュを体験をした。

岩場や冬山、沢での遭難事故による救出には、より高度な救助技術が求められることから、協会加盟団体

会員の実践に即した現場隊員の養成が急務となりつつある。

今回の経験をもとに、来年は関係機関、団体にも働きかけ、更に充実したものにしていく必要がある。

2日目、夏油「枯松沢」で沢登り講習会兼指導員研修会を行う。7名の参加である。内容は「現在地確認、ロープの結び方、滝の登り方、トラバースの方法、渡渉、高巻き他」である。枯松沢には夏油川本流から入渓する。雨の影響を心配していたが水は澄んでいる。ゴルジュ、深い釜、廊下状の河床、V字谷の高巻き、ロープでの安全確保等沢は様々な顔を見せ充実した研修をすることができた。



今年も、身障者登山に ボランティア協力

数年前から、続けている身体障害者登山のサポートボランティア活動が、初夏の八幡平登山に引き続き8月21日

(土)八幡平市安比高原前森山への登山が行われた。当日は、天候にも恵まれ



車椅子の方10名を含む57名の皆さんが前森山から岩手山や安比高原の大パノラマの壮観な景色を満喫した。

このボランティア活動は、岩手県身体障害者福祉協会からの要請を受けて、地元翌檜山岳会を中心に岩手県山岳協会として協力してきているものです。協会員を中心とするボランティアの皆さんは、車椅子の前後での確保や遠くに見える山々や秋の高山植物の案内を買って出て、日頃登る機会のない身体障害者の皆さんから感謝の言葉が寄せられた。

日本山岳協会

創立50周年記念事業のお知らせ

社団法人日本山岳協会は、2010年、創立50周年を迎えました。1960年(昭和35年)全国の都道府県山岳連盟(協会)で結成された全日本山岳連盟と(社)日本山岳協会が協議して、日本山岳協会が誕生しました。これまで、日本の登山界を代表する団体として、広く国民の登山活動を対象に安全登山と山岳環境及び山岳文化に配慮した正しい登山やスポーツクライミン

グの指導普及を図り、その健全な発展に大きく貢献してきました。

この間、岩手県山岳協会は、日本山岳協会の構成団体の一つとして、設立当初から中核的役割を果たしてきました。この50周年の大きな節目の年を全国の岳友とともに祝いしたいと思います。

記念事業で東北ブロック行事として記念講演と映画会が開催されます。

- 1 日時 10月9日(土) 13:00~17:15分
- 2 会場 宮城県栗原市
この花さくや姫プラザホール
JRくりこま高原駅 徒歩約10分
- 3 内容 安全登山の講演・映画会 in 栗駒
- 4 講師 岩崎元郎氏
- 5 入場料 無料
- 6 申込み 宮城県山岳連盟事務局
(理事長斉藤英次)
電話・ファックス 022-281-4091
- 7 申込期限 平成22年9月30日(木)

※なお、(社)日本山岳協会創立50周年記念式典は、平成23年1月15日 東京で開催予定です。

第7回ボルダリング大会

- 1 日時 平成22年10月24日(日)
開会式8:30
- 2 場所 県営運動公園 ボルダリングルーム
- 3 参加料 ジュニア・高校生 2000円
一般 2500円
- 4 カテゴリ ビギナー、ミドル、エキスパート
- 5 申込先 106月19日(火)
盛岡四高 吉田英夫
郵送、FAX、メールで

詳しくは同封の申込者又はホームページをご覧ください。

初冬期登山講習会 兼指導員研修会

- 1 日時 平成22年12月11日(土)
~12日(日)
- 2 場所 八幡平市
三ツ石山・大松倉山城(松川コース)
- 3 内容 雪中歩行、耐寒訓練、雪崩対策
- 4 申込 11月26日 佐藤指導部長まで

経過報告

- 5/20(木)-23(日)佐渡「金北山、ドンデン山登山」
- 5/21(金)-23(日)高体連登山基礎講習会(前期)
- 5/27(木) 第2回評議員会
- 5/27(木) 創立70周年記念事業第1回実行委員会
- 5/30(日) 盛岡RCC創立50周年記念式典
- 6/4(金)-6(日)第62回岩手県高等学校総合体育大会登山競技
- 6/5(土) 安家森・遠別岳・平庭岳縦走登山
- 6/10(木) 第71回国体岩手県準備委員会総会
- 6/12(土) 日山協指導員総会兼研修会
- 6/12(土)-13(日) ボッカ大将
- 6/16(水) 第4回常任理事会
- 6/17(木) 第1回国体担当者・ヘッドコーチ会議
- 6/19(土) 盛岡山岳会創立80周年記念式典
- 6/19(土)-20(日)第37回東北総合体育大会山岳競技審判会議
- 6/22(火) 県体協第1回選手強化委員会
- 6/26(土)-27(日) クライミング大会、県民体育大会・国体選手選考会
- 6/26(土)-27(日)日山協遭難対策研究会・研修会
- 7/1(木) 岩手山山開き
- 7/4(日) 2010 つなぎ・箱ヶ森トレイルランニング大会
- 7/7(土)-10(火) 夏休み親子クライミング・ボルダリング教室
- 7/11(日) 小泉昌弘氏岩手県体育協会功労賞受賞祝賀会
- 7/22(木) 県体協第2回選手強化委員会
- 7/23(金)-25(日) 東北総体山岳競技
- 7/31(土)-8/1(日) 沢登・岩登講習会兼指導員研修会
- 8/4(水) 第4回部長会
- 8/6(金)-10(火) 全国高等学校登山大会
- 8/7(土)-8(日) ジュニア体験登山
- 9/1(水) 第5回常任理事会

今後の予定

- 9/21(火) 70周年実行委員会
- 10/1(金)-4(月) 高体連登山基礎講習会(後期)
- 10/1(金)-4(月) 千葉国体
- 10/7(木)-9(土) 岩手県高等学校新人大会
- 10/11(月) クライミングフェスティバル・認定講習会
- 10/24(日) 第7回ボルダリング大会
- 11/4(木) 第6回常任理事会
- 12/11(土)-12(日)初冬期登山講習会兼指導員研修会